



議会ホームページへ



議会だよりへ



主な内容

9月定例会(令和5年度一般会計歳入歳出決算認定) ②

議員10名による一般質問 ⑫

阿武隈川水系流域治水プロジェクト推進状況視察 ⑭

わたしたちの災害時の防災の拠点

非常用発電設備、給水設備、感染防止対策等の充実強化

伊達地方消防組合 中央消防署西分署 新庁舎落成式 (令和6年7月30日(火) 10:00)

9月定例会

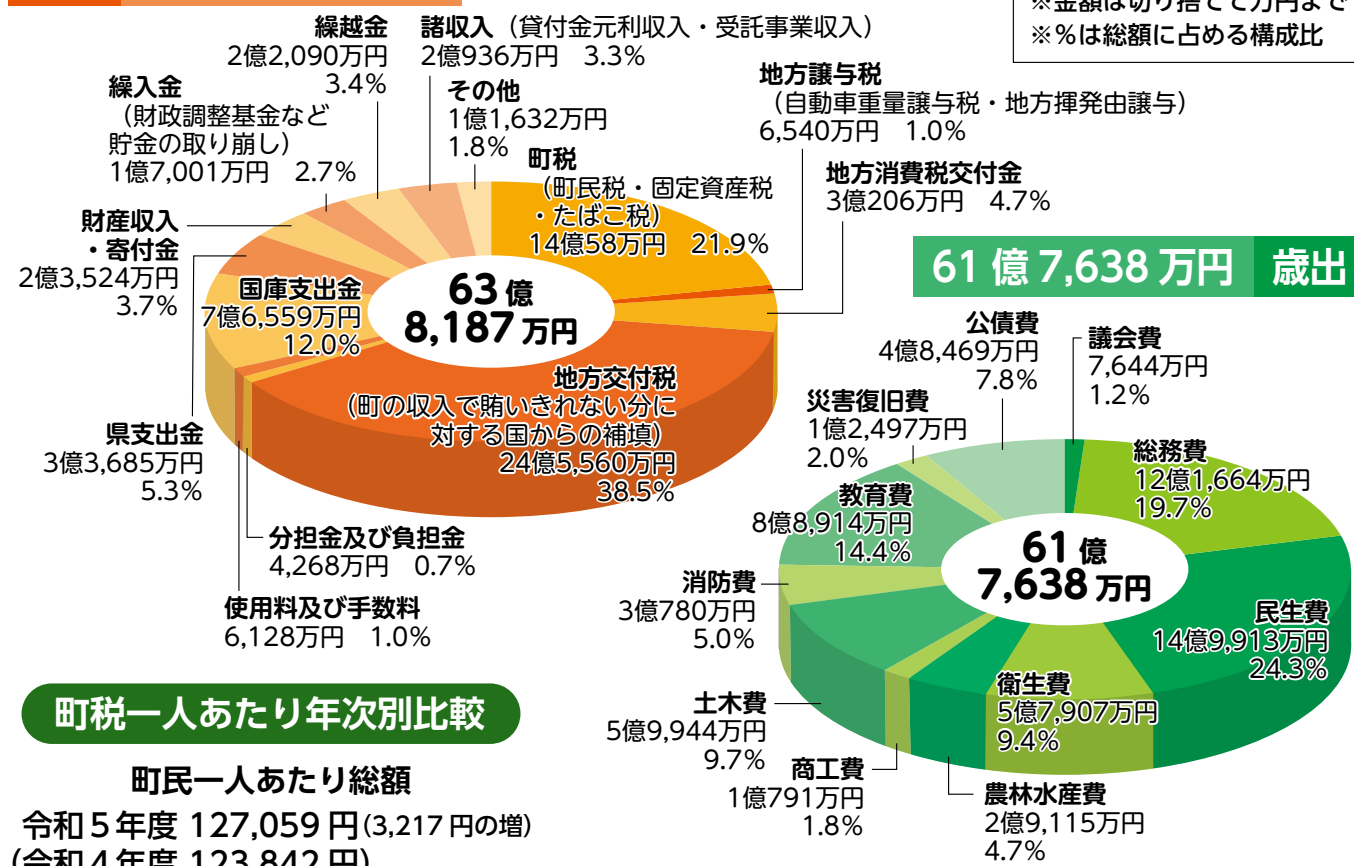
●会期：9月4日(水)～19日(木)(16日間)

提出議案 審議採決

令和5年度決算認定(一般会計1件・特別会計6件)、条例改正3件、条例廃止1件、規約変更1件、補正予算3件、同意1件、水道事業未処分利益剰余金の処分1件、報告1件、総合計画中期基本計画、都市計画マスタープラン

令和5年度 決算 賛成7 反対4 認定

歳入 63億8,187万円



町税一人あたり年次別比較

町民一人あたり総額
令和5年度 127,059円(3,217円の増)
(令和4年度 123,842円)



令和5年度桑折町の一般会計や特別会計、水道事業会計に関する決算審査が、7月23日から8月2日まで行われ、提出された書類が関係法令に基づき作成され、誤りがないことが確認されました。予算執行も概ね適正でした。コロナ感染症が5類に引き下げられ、社会経済活動が活発化した一方、エネルギー価格の高騰で町民生活は依然厳しい状況でしたが、町は子育てや事業者支援などで成果を上げました。水道事業も適正であり、財政健全性も保たれていました。

決算審査結果

桑折町監査委員
鈴木 久一
佐藤 一子

令和5年度一般会計決算 総括質疑

コロナ禍後の再生の成果は

岡本貴士 議員

問 令和5年度当初は「コロナ禍後の社会経済活動やコミュニティの再生を目指す」と町政の考えを示していた。社会経済活動については、町有地の活用を進め、町民の日常生活の利便性の向上が図られた。粘り強く交渉・説明を続けてきた担当課、関係各位に敬意を表したい。また、約3,000名が来場した「旧伊達郡役所・誕生祭」は、本町の歴史遺産を活用し、コミュニティの再生はもとより、地域への愛着と誇りの醸成、シニアプロモーションの3つの成果が現れた。限られた財源の中、費用対効果のある「桑折ならでは」の取組であった。令和5年度の所見を伺う。

答 町民はコロナ禍後を待ちわびていた。再生に手応えを感じた令和5年度であった。

「自習室まなびば」設立の目的と運営は

羽根田ひとみ 議員

問 自習室「学VIVA」はどのようなことを想像し、どのような思いで作られたのか。また賃貸料は妥当か。

答 福島のアオウゼのように子どもたちや大人の学びの場を提供したかった。「よもぎ」もあるが、6時で終わってしまうため

子どもたちの学力向上は

半沢正保 議員

問 こおり教育要覧の中学校ビジョンの中に、「保護者の願い」、「地域の願い」の1番目に、「学力を向上させてほしい」とあげられている。学校教育で解決しなければならぬ大きな課題である。このことを重く受け止め、いままでの取組をすべて見直し「活力ある学力の高い町づくり」のため、最大限の危機感を持って、学びの変革に取り組みすべきではないか。

答 半沢議員の一般質問(P18参照)で、お答えしたことに取り組んでいく。

高齢化が進む中、有害鳥獣対策は

佐藤武朗 議員

問 令和5年度の有害鳥獣対策事業として放因果樹伐採事業等、各種対策事業を実施してきたが、評価はどうであったか。また半田、睦合地域においての高齢化、人口減少が進むなか、13kmにわたる有害鳥獣進入防止柵の維持管理でも容易でない現状である。今後の有害鳥獣対策については、抜本的な対策を検討していく必要があると考えるが。

答 有害鳥獣の捕獲・駆除等を実施。協議会が業務委託を行い有害鳥獣の生息状況調査やサルの上り上げを実施し、農作物被害拡

「地域計画」の進捗状況は

石幡政子 議員

問 「人・農地プラン」の後継となる「地域計画」については、令和4年に制定され、令和5年度から本格的な事業を展開している。農業の担い手を確保するための実践的な取組は令和5年度の目標を達成できたか伺う。

答 令和5年度は、今後の事業推進の手順等について、各地区の説明会を開催し、農地利用意向調査、地区の中心担い手との話し合いを進めた。桃農家だけではなく農業全般の健全経営を維持していくため、耕作地の確保は重要であり、また、農作物の価格の安定を図るためにも「地域計画」に基づく施策を推進していく。

DX利用推進に向けての取組は

鈴木隆志 議員

問 DX化の推進に向け、町公式ホームページや町公式LINEにより町民向け情報発信、コンビニ交付システムによる住民票の写し、印鑑登録証明書の交付等取り組んでいるなかで、マイナンバーびったりサービスが令和5年5月1日より開始され28の手続きがオンラインで申請できるようになったが、まだま

だ町民の利用が少ない状況にあると考えるが、町長の所見を伺う。

答 今まさにDXの時代のなかで、便利さだけでなく、生活していくうえで支障が出てくると考える。防災等の緊急時に、災害情報の入手方法を知っている人と知らない人では、災害から命を守る方法も違ってくる。操作の一つを理解していただく場として**スマホ講座等の充実を進めていく必要があると考える。**

農業振興策・桃の産地価格差克服を

川村 滋道 議員

問 桃の産地価格差が1キロ121円の差がある。県外の産地のみならず市場にも福島の桃をアピールすべきではないか。

答 厳しい情勢の中今年の売り上げは増加している。逐次関係者と協議している。

激甚化する自然災害への対応を

川名 静子 議員

問 本町の地区防災訓練は地区やその時々合った内容で行われている。近年多発し激甚化している大雨に対する対策もこれまで以上に力を入れ、町民誰ひとり取り残すことのない自然災害による犠牲者を出さない町の対策を伺う。

答 大雨や土砂災害に対しても取り組む。大がかりではなくともそれぞれが考え取組む一人の一步が大事だ。防災訓練も**起こりうる可能性の高い災害へ地区に合った訓練を引き続き協力を得ながら対応していく。**

議決抜き公費支出について

齋藤 松夫 議員

問 決算付属資料に過去4年連続で議会議決抜き公費支出の件が記載されているが「反省」の文言が見当たらない。これは財務規則第50条違反という性格の誤った事務でもあった。そのことを含む「**反省の文言がないのはなぜか。**」決算付属資料は、「反省」の文言を記載する文書ではないので記載しなかった。



令和5年度 特別会計 総括質疑

水道事業の今後は

川名 静子 議員

問 令和5年度本町の総排水量は1,403,898トン。3分の1が内の馬場浄水場、残りがすりかみ浄水場からである。今後人口減となった場合の給水体制は、ダウンサイジングをして行かなければならない。管理者としての考えは。

答 現在給水している内の馬場浄水場からの老朽化を考えると参画しているすりかみ浄水場に切り替えた方が安定かつ安全に成り立つ方策だ。人口減の到来は確実だ。今後新たな展開があっても参画水量に見合った量を入れ、事業が成り立つ料金を設定し**値上げに至らないよう努めていく。**

未就学児の均等割負担の無償化を

川村 滋道 議員

問 協会けんぽは事業者負担がある分国保に比べ本人負担が軽い。国保の構造問題だ。加入者の困窮度は高まっている。当町の未就学児の均等割負担を無料にするには40数万円の予算追加で可能だ。近隣の川俣町でも無償化をした。本町でも実施する考えはないか。

答 日本共産党議員団の以前からの要望であることは承知だ。しかし国保会計はコロナのように不測の事態に対応するため決算に余裕があるからすぐに流用とはいかないことを承知いただきたい。

令和5年度 特別会計決算 認定

種 別	項 目	歳 入	歳 出	差引残額
国民健康保険	決算額	1,286,241,076円	1,230,855,711円	55,385,365円
	概 要	収納率 97.2%	執行率 95.9%	全額翌年度繰越
後期高齢者医療	決算額	198,913,390円	198,319,537円	593,853円
	概 要	収納率 99.8%	執行率 98.6%	全額翌年度繰越
介護保険	決算額	1,803,502,591円	1,630,565,789円	172,936,802円
	概 要	収納率 99.9%	執行率 91.4%	全額翌年度繰越
公共下水道事業	決算額	324,625,123円	266,164,907円	58,460,216円
	概 要	収納率 97.9%	執行率 82.3%	全額翌年度繰越
半田財産区事業	決算額	2,563,406円	2,259,275円	304,131円
	概 要	収納率 99.9%	執行率 88.1%	全額翌年度繰越

※1 (収納率) = (実際に収入があった金額÷予定していた収入額) × 100%
計画していた収入のどれだけが実際に得られたかを示す指標。
※2 (執行率) = (実際に支出した金額÷予定していた支出額) × 100%
計画していた支出のどれだけが実際に使われたかを示す指標。

水道事業会計決算 認定

	決算概要	収益的収支	資本的収支	令和4年度 剰余金処分
水道事業	有収率 82.2% 漏水調査実施、 配水管修繕工事 により前年度より0.6%増	収 入 342,109,121円 支 出 289,965,517円 純利益 52,143,604円 (税抜き)	収 入 0円 支 出 81,697,244円 不足は損益勘定保留資金、 積立金で補てん	建設改良積立金に 31,616,197円を 積み立て、残金を 次年度に全額繰越



条例改正

災害派遣職員に対する
新たな特殊手当支給

◆町職員の特殊勤務手当の
一部改正

災害や大規模な事故が
発生、またその恐れがあ
る町外の地方公共団体地
域に派遣され、災害応急
作業に従事した場合、新
たに特殊勤務手当を支給
する一部改正

◆地方活力向上地域におけ
る固定資産税の免除及び
不均一課税に関する条例
の一部改正

地方再生法第17条の6
の地方公共団体等を定め
る省令の一部改正に伴う
対象期の延長の一部改正



◆国民健康保険条例の一部
改正

マイナンバー法の一部
改正により令和6年12月
2日から健康保険証が廃
止されることに伴う所要
の一部改正

条例廃止

◆新型コロナウイルス対策
融資利子補給基金条例の
廃止

コロナウイルス対策事
業が終了したため積立資
金を全額取崩し国庫に返
還するため基金条例を廃
止

規約変更

桑折町役場移転に伴い、
伊達市桑折町国見町火葬場
協議会事務所の住所を変更
するための規約変更

報告

◆令和5年度桑折町一般会
計等歳入歳出決算に伴う
健全化判断比率及び公営
企業会計等に係る資金不
足比率について

監査員の意見

いずれも適正に作成さ
れ是正改善を指摘すべき
事項はない。

同意

◆町教育委員会委員の任命
住所 桑折町字新町
氏名 小野 紀 章

陳情 審査結果

〔継続審査1件〕

◆政党機関紙の庁舎内勧誘
行為の禁止の確認を求め
る陳情

（陳情者）

福島市野田町字八郎内 57

18

福島県を明るくする会
代表 嶋 原 隆

（審査委員会）

総務文教常任委員会

（審査の結果）

継続審査

桑折町総合計画「献上桃の郷こおり未来躍動プラン」 中期基本計画

令和7年度から11年度までを計画期間とする中期基本計画を策定する。

中期基本計画期間については、基本構想で掲げる将来像の実現に向け、急激に進行する人口減少対策や物価高騰対策、コロナ禍で低迷した賑わい創出、未来の人材を育む子育て支援、町民の健康や暮らしを守る施策の展開などについて、重点的に取り組む。

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
基本構想	計画期間10年									
基本計画	前期基本計画3年			中期基本計画5年					後期基本計画2年	
重点プロジェクト	重点プロジェクト									
個別計画	各個別計画の計画期間により見直し									
実施計画	実施計画3年			実施計画5年					実施計画2年	



補正予算

◆令和6年度一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ7,187万円を追加し、予算総額65億7,930万円とするもの。

《主な歳入》

《主な歳出》

項 目	補正額	項 目	補正額
コロナウイルス定期接種 ワクチン確保事業助成金	2,158万円	予防接種事業費	2,158万円
福島県安心こども基金 特別対策事業補助金	2,148万円	子育て支援事業費	2,417万円
特別交付税 (地域おこし協力隊助成金)	200万円	農業振興対策事業費	950万円

◆国民健康保険特別会計(事業勘定)(第2号)

歳入歳出それぞれ15万円を追加し、予算総額13億13万円とするもの。

《歳 入》

《歳 出》

項 目	補正額	項 目	補正額
保険給付費等交付金	15万円	印刷製本費	15万円

◆介護保険特別会計(保険事業勘定)(第1号)

歳入歳出それぞれ1億4,041万円を追加し、予算総額18億5,079万円とするもの。

《歳 入》

《歳 出》

項 目	補正額	項 目	補正額
前年度繰越金	1億4,041万円	償 還 金	1億 756万円
		一般会計繰出金	3,285万円

一目でわかる

審議結果



会議結果表へ

令和6年第4回桑折町議会定例会

	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	齊藤 謙	半澤 高	川名静子	原 賢志
一般質問者	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	—

○賛否の分かれた議案

議案名	議員名	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	齊藤 謙	半澤 高	川名静子	議 長	可 否
認定第1号 令和5年度桑折町一般会計歳入歳出決算認定について		●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	—	可決
認定第2号 令和5年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について		●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
議案第37号 令和6年度桑折町一般会計補正予算(第2号)		●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	—	可決
議案第40号 桑折町総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」中期基本計画		●	●	○	○	○	○	●	○	●	○	●	—	可決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 □：討論者

○全会一致で可決の議案

議 案 名	議 案 名
認定第3号 令和5年度桑折町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	議案第35号 桑折町新型コロナウイルス対策融資利子補給基金条例を廃止する条例
認定第4号 令和5年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算認定について	議案第36号 伊達市桑折町国見町火葬場協議会規約の変更について
認定第5号 令和5年度桑折町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	議案第38号 令和6年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)
認定第6号 令和5年度桑折町半田財産区特別会計歳入歳出決算認定について	議案第39号 令和6年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)
認定第7号 令和5年度桑折町水道事業会計決算認定について	議案第41号 桑折町都市計画マスタープラン
議案第31号 令和5年度桑折町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	報告第4号 令和5年度桑折町一般会計等歳入歳出決算に伴う健全化判断比率及び公営企業会計等に係る資金不足比率について
議案第32号 桑折町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	同意第4号 桑折町教育委員会委員の任命について
議案第33号 桑折町地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例	桑折町議会議員の派遣について
議案第34号 桑折町国民健康保険条例の一部を改正する条例	常任委員会の閉会中の継続審査の申し出について
	閉会中の所管及び所掌事務調査の申し出について

※報告は採決なし



桑折町都市計画マスタープラン

前回平成26年の見直しから10年弱が経過し、上位計画の見直し、社会情勢の変化等に確実に対応していくため策定する。

まちづくりの将来像

【桑折町都市計画マスタープランより抜粋】

●まちづくりの基本理念と基本目標

【まちづくりの基本目標】

【まちづくりの基本理念】

『愛着と誇り(桑折プライド)を育む
住みたいまち
住み続けたいまち
こおりならではの
まちづくり』

【土地利用・道路・交通】

広域交通網などの地域特性や地域資源を活かした戦略的なまちづくり

【防災】

安全・安心な災害に強い強靱なまちづくり

【住環境・福祉・子育て】

子どもからお年寄りまで、笑顔で住み続けられるまちづくり

【自然環境・景観・観光・交流】

歴史、風土、環境の豊かさを活かしたまちづくり

【共創】

町民参画による共創のまちづくり

●将来都市構造

①土地利用エリア

都市構想エリア、農地・集落エリア、森林エリアでは、地域の特性に応じた適正な土地利用を推進します。

②都市の拠点

中心拠点、地域生活拠点、工業拠点、複合機能創出拠点、緑の拠点では、都市の魅力と活力を高める拠点の機能強化を図ります。

③都市の軸

広域高速交通軸、広域都市軸、地域連携軸、中心拠点軸、水辺骨格軸では、都市の交流を支える交通・連携軸の強化を図ります。

■将来都市構造図



討 論 一 覧 表

賛 成		議案・認定	反 対	
農業振興対策事業費として、農業型「地域おこし協力隊」を卒隊した2名に対する新規就農支援の予算が計上された。国や県の補助金・助成金を活用したものである。協力隊として、本町の桃の生産に、勇気をもって挑戦した2名と、彼らを受け入れ、ご指導くださった農家様、担当課、関係各位に敬意を表して、賛成の討論とする。	岡本 貴士 議員	補正予算 議案第37号	齋藤 松夫 議員	反対の態度をとる。なぜ反対か。それは民営認定こども園関連の予算が計上されているからである。当初予算審議において保育所等民営化政策に対し反対の態度をとっており、その延長線上での予算計上に賛成するわけにはいかない。
議案37号に賛成する。本議案には、10月から始まる新型コロナウイルス感染症対応の定期接種に関する予防接種事業費2,158万円があり、非常に重要な補正予算であるとする。また他の補正も今後の町事業にとって重要なものであり本議案に賛成する。	半澤 高 議員		川名 静子 議員	今補正には、コロナワクチン接種事業、7年度入学の外国人のための翻訳機、新規就農者への補助金等が含まれ、大切な補正であることは重々理解している。しかし、「認定こども園」に関しては町の進め方、事業者の独自性が見えず、一般質問での議論を通して理解できない。よって、「認定こども園」施設整備費補助金のみ反対する。
本議案に賛成する。本日朝に提示された多くの訂正箇所はあったものの総合計画中期基本計画は、今後の町の課題と対応する施策・方策に関して整理されている計画であり、今後に期待する。5年以内には1C近くに大型ショッピングモールが開業する予定であるが、桑折町が利用者の通過点とならぬよう対応をしてほしい。	半澤 高 議員	総合計画 議案第40号	齋藤 松夫 議員	反対である。本計画は、令和3年9月議会で議長裁決により可決となった総合計画を土台としたもの。その最大の問題点は町計画を無視した保育所等民営化政策だ。その後の3年間は誤った事務執行の連続だ。結果として事業者への町負担は総額1億円を超える。このような結果を生み出した計画を土台とする本案に賛成できない。
計画は長期的な展望に立ち町政全般に係る政策及び施策の基本的な方向性を総合的、体系的に定めた計画である。「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」町の将来像として、令和4年度より前期計画を進めてきた。その成果の一部として住みここち自治体ランキングで県内1位、中期計画もそれにつながる計画であり賛成とする。	佐藤 武朗 議員		川名 静子 議員	当日になって42か所の訂正の説明を受けた。まだあるのではと疑いたくなる。今後5年間の町最上位計画ではないか。計画には支障がないとの町長説明だが、このような不完全な計画に議決してくれとは、甘すぎないですか。議決する議会には責任がある。 よって完全な計画書の再提出後に責任をもって議決したいと考え反対する。
本総合計画は、「コロナからの再生」「人口減少社会への対応」など、時代の潮流をふまえ、危機感を持ち総合計画が見直すべきところが適切に見直され、桑折町の持続的な発展のための最適なプランであると判断し賛成する。	半沢 正保 議員		鈴木 隆志 議員	町の最上位計画である総合計画の中間基本計画(案)に訂正がある状態で、議案として提出して良いものか疑問を感じる。 特に中間基本計画を作成するにあたり、審議会の答申は尊重されるべきであり、一部変更について、議会で議決してから審議会に説明するのでは、審議会の答申がどうでもよくなってしまう。 内容的にそんなに変わらない軽微なものであっても、きちっと筋道を通して審議会に説明のうえ再度提出すべきとの意見から、反対とする。
決算認定に賛成の立場から討論する。令和5年5月新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたが、その後も感染が続いている。その状況のなか町は町民の健康と暮らしを守るべく各種施策を実施してきた。また、防災減災や賑わい創出など多くの事業を実施してきており、それらの事業の集大成が本決算であると考え認定に賛成する。	半澤 高 議員	令和5年度一般会計決算 認定第1号	齋藤 松夫 議員	第一 数々の問題点(町民合意なき民営化政策・プロポーザル実施要領無視の事務執行・定期借地権設定契約無視の廃棄物処理費用町負担)を含む蚕糸跡地利活用事業の予算執行であるため。 第二 旧統一教会関係者が事業運営する社会福祉法人に、町の乳幼児の保育と教育をゆだねる政策にも賛成できない。
長年放置されていた蚕糸跡地に、問題を乗り越えて、商業施設が無事オープンできた。またその中の自習室改善の指摘に対し、即アンケートを設置した。 ゴミ減量化のため、可燃ゴミ収集を週2回にするなどの準備をし、4月からスタートした。長年の習慣や慣例にこだわらず、ニーズに合わせた素早い取組を評価して賛成する。	羽根田ひとみ 議員		斉藤 謙 議員	実質単年度収支約2億8,000万円を早期解消すること。毎回経常収支率の改善を求めてきたが未だ高止まりとなっている。しかも、自然災害が多発する中、町民の安全・安心を第一に考えなくてはならない。令和4年度公会計においても、当町の一般会計における減価償却率は63.1%で前年度より増加しており、インフラ工作物(道路・橋梁)、インフラ建物(公園施設)の減価償却率が高い傾向にあり、施設の老朽化が進んできているといえる。公共建物の老朽化がはげしく、公会計においても、毎年改善を求められているが、一向に改善が進まない。1C周辺の土地利用を検討しているようであるが、町民が納税することは、貯金することではなく、町民のために使うことである。町民の安全・安心を優先したインフラ整備の取組を早期に実施すべきである。よって、今回の決算認定には反対とする。
決算審査意見書、各所管別認定調査をもとに決算状況を精査した。①会計上の指標となる収納率、執行率ともに良好、財政健全化判断比率は基準値を大きく下回り健全性が保たれている。②「住み心地のよい町に向け」多様な行政需要へ適切に対応されてきていること。最小の経費で最大の効果をあげるべしという原則が厳守されている。以上をふまえ認定に賛成する。	半沢 正保 議員		川名 静子 議員	決算審査に当たり、決算書付属資料を十分にチェックした。差し替えが1件あったものの、執行率95.2%、執行残額・不用額もそれぞれ減少したことへの取組は評価する。しかし、これまで商業施設からのアスベスト処理「認定こども園」敷地内埋設物処理費用を契約に反し町が負担することに反対してきた。従って令和5年度決算は認定できない。
		国民健康保険 特別会計 令和5年度 認定第2号	川村 滋道 議員	構造的な国の制度により国保加入者の困窮度合いは高まっている。国保料の均等割、平等割がなくなれば協会けんぽ並みの負担額に近づく。生活困窮者の国保料を免除する。滞納者からの保険証の取り上げ、差し押さえなどの強権的な取り立てを止めさせる。自治体独自の負担軽減の取組を支援するなどの抜本的な問題が未解決である。その解決まで、引き続き日本共産党議員団は要求し続ける。よって本決算に反対である。



さいとう けん 齊藤 謙 議員

質問 実質単年度収支赤字の解消を

答弁 経常収支比率は類似団体平均値以下に

問

実質単年度収支赤字(約2億8千万円)をどのように解消するのか。予算編成方針を厳守していないのではないのか。実質公債費は貸出金利上昇している昨今財政の健全性は保たれているのか。ビルド&スクラップの考え方を導入すべきでないか。手数料・使用料・財産収入は自主財源確保のための手段であり、数値目標を明確にした取組が必要ではないか。

答

町長

実質単年度収支赤字(約2億8千万円)の解消については、経常収支比率を類似団体の平均値を下回るように取り組む。よって、行政経費の節減合理化・事務事業の選択と集中をさらに進め効果的な事務事業の推進等を改善していく。公共施設等総合管理計画では、特に、道路・橋梁等は早急に取り組みたい。



町民の安全・安心が重要 町民体育館の老朽化

質問 公共施設等総合管理計画に基づき検討を

答弁 更新・統廃合、長寿命化等を検討する

問

減価償却比率の改善を計画的に地域の将来像を見据え検討する

問

公共施設の維持管理には多額の費用を要するため、公共施設等総合管理計画に従って進めていく必要がある、今後、多額の補助金や繰出金を要することのないようにしていく必要があるのではないのか。

問

例えば、うぶかの郷等売却する考えはないか。

答

町長 うぶかの郷については、事業者の考えを聞く必要がある。

答

町長 公共施設は、現状や課題に関する基本認識、将来の人口動向や財政状況、地域の特性や町民ニーズを踏まえながらも、地域の将来像を見据え「公共施設等総合管理計画」に基づき検討していく。

町民の思いや願いを届ける

65分

9月定例会は議員10名が登壇



※青字は、質問の概要を掲載しています。

Table with 2 columns: 登壇議員 (Seitai Giin) and 質問事項 (Shitsumon Jikou). Rows include Aizawa Kenji, Okamoto Takashi, Suzuki Ryoji, Hanazawa Takahiko, Asanuma Hitomi, Hanazawa Shigeaki, Ishihara Fumiko, Kawasaki Shizuko, Kawasaki Murao, and Aizawa Rikuo.

一般質問とは、議会で議員が行政(町長や役場など)に対して、町民の関心事や問題点について質問し、その答えを求める制度です。これにより、行政の運営状況を確認し、政策の改善や問題の解決を図ることを目的としています。 議会だより—12

一般質問 という名の 政策提案

これも 質問



鈴木 隆志 議員

質問 緊急安心カードを各戸に配付しては

答弁 各戸に配付できるよう努めていく

問 交通事故や急病で自分の疾病等の情報が伝えられない場合利用できる「緊急安心カード」を各戸配付する考えは。

答 町長 迅速な緊急搬送や処置に有効であることから、町においても、各戸配付やホームページでの周知などで、普及・啓発を進めていきたい。

問 救急隊員が「緊急安心カード」を見つければ、迅速に保管場所を示す表示ステッカーを各戸配付する考えは。



いざという時のために準備を忘れずに

答 町長 「緊急安心カード」各戸配付に向け、表示ステッカーも含めて、今後、検討していきたい。

問 「緊急安心カード」の記載内容に変更がないか年1回程度、保管場所を含め確認する考えは。

答 町長 高齢者の緊急連絡先確認に合わせ、かかりつけ医や飲んでいる薬を含め、福祉関係と連携できるように今後検討していきたい。



岡本 貴士 議員

質問 桑折町の行政サービスが県内1位

答弁 決意を新たに、施策推進していく

問 民間企業の調査によると、街の住みこち自治体ランキングにおいて、本町が福島県内1位となった。この調査は8つの因子を総合評価したものである。その8つの因子の1つである「行政サービス」の結果も県内1位であった。所見を伺う。

答 町長 行政サービスについては、公共施設や教育環境、子育て支援、歴史・伝統、福祉サービスの充実度などの視点からの調査であり、本町における待機児童ゼロの堅持や給食費無償化などの充実した子育て支援、質の高い教育の実践、桑折西山城跡や旧伊達郡役所等の歴史的遺産の保存と積極的な活用、福祉施設の充実などが、高く評価されたものと捉えている。

住みこちランキング

順位	自治体名	偏差値
1位	桑折町	70.5
2位	郡山市	64.7
3位	須賀川市	61.6
4位	本宮市	60.6
5位	西郷村	60.1
6位	福島市	58.6
7位	大玉村	57.4
8位	矢吹町	56.9
9位	いわき市	56.7
10位	鏡石町	56.6

住みこちランキング2024福島版(大東建託賃貸未来研究所)

質問 認知症予防、町行政の役割は

答弁 認知症施策を総合的に進めていく

問 認知症の人が、2025年には700万人(高齢者の5人に1人)に達すると言われている。認知症は予防できる。認知症は予防できる。治療薬も開発され、早期発見が重要である。町行政の果たすべき役割を伺う。

答 町長 町の役割については、「桑折町第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」で掲げているとおり、一人ひとりが認知症になる前から備えるとともに、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしくよりよく生きていける環境づくりを目指し、町民や地域団体、関連機関、事業者等との協働のもと、認知症施策を総合的に進めていくことである。

質問 スマホ操作ハンドブックの配付は

答弁 操作ハンドブックの配付を検討する

問 福島市で、「高齢者向けスマホハンドブック」を配付、ホームページ公開している。町の考えは。

答 町長 福島市のハンドブックは、わかりやすくまとまっている。今後、参考に作成検討していきたい。

問 伊達市で、画面越しにスマホの操作の指導ができる「オンラインスマホ操作相談コーナー」を設置している。町の考えは。

答 町長 伊達市の利用状況を確認のうえ設置について検討していきたい。

問 町LINEは、いつでも、どこでも情報を見ることが出来る。多くの町民に利用してもらえるよう相談窓口を設置する考えは。

答 町長 町LINEの登録・操作方法について、総合政策課の窓口で、DX担当者から、詳しく説明させるので、相談利用していただきたい。

これも質問

- 問** スマホ講習会時のアシスタントの活用状況は
- 答** アシスタントで現在3名に協力いただいている
- 問** 電子商品券操作説明会の開催回数と参加者は
- 答** 説明会14回開催し253名の参加があった
- 問** 部活動指導員及び外部指導員の募集状況
- 答** 部活動指導員1名応募、外部指導員1名配置



はねだ 羽根田 ひとみ 議員

質問 学ぶ場と温水プールの運営改善を

答弁 アンケート回収ボックスを備える

問 「学VIVA」の椅子が高く、学習するには落着かない。もう少し低い椅子を用意できないか。

答 町長 備品については設備仕様のもと施設所有者において準備いただいたものであり、使用には支障がないものと捉えている。

問 実際使用している人の声を聴くべきではないか。

答 町長 アンケート回収ボックスを備え、聴くようにする。



早速備え付けたアンケート回収ボックス

問 いちいのフリースペースは購入した物の飲食がしづらい環境にある。飲食の掲示が必要と考えるがいかがか。

答 町長 入口にポスターを掲示した。更に利用しやすいよう掲示の工夫に努める。

問 温水プールのシャワーをもう一つ設置できないものか。

答 町長 通常使用においては問題ない。ご理解を願う。



はんざわ たかし 半澤 高 議員

質問 半田銀山関連事業の今後の計画は

答弁 今後も引き続き企画展等を開催



多くの皆さんの参加を

問 今年度の重点事業のひとつ「歴史と文化を活かした魅力発信事業」半田銀山の歴史・文化を活用した事業について、内容と今後の計画について伺う。

答 教育長 五代友厚による再興150年の節目の年を記念し企画するもので「半田銀山シンポジウム」と題して11月10日に開催を予定しており、歴史研究家、

脚本家による講演、著名漫画家らによる特別トークに加えて、半田銀山に関連する展示や体験ブースを設けるとともに歴史案内人による現地スタディーツアーなどを計画している。また、半田銀山については町の貴重な歴史的資源のひとつであり、今後も引き続き、貴重な資料の企画展や遺跡の見学会開催を通して町内外に対し情報発信していく。

質問 大かや園水質検査結果と対策は

答弁 衛生管理の徹底を図る

問 大かや園では、7月の水質検査でレジオネラ属菌が検出され入浴施設の営業を休止した。県保健福祉事務所の指導のもと消毒作業などの対応にあたり8月3日に営業再開したとのことであるが、経緯と今後のレジオネラ属菌対策（レジオネラ症発生防止策）について伺う。

答 町長 利用者に対しては施設入口への掲示や町HP掲載にて利用休止のお知らせを行った。また、発症が懸念される利用者については、特定できたことから個別に電話や声かけ等を行い、健康面の聞き取りや注意を呼び掛けた。今後のレジオネラ属菌対策については、県保健福祉事務所から改めて指導を受けたことから、衛生管理の徹底を図り、再発防止に努めてまいりたい。

これも質問

問 役場跡地の宅地化の進展は

答 一日も早い完売を期待

問 コロナとインフルの予防策は

答 手洗い・うがい等引き続き周知

質問 農地維持のため情報公開と自動化を

答弁 情報提供と先端技術を調査する

問 農業をはじめた人たちが借りられる農地情報がなると不安の声がある。現在農業委員会では農地所有者に対し、今後の動向について聞き取り調査をしている。この情報を公開してはいかがか。

答 町長 「営農状況・農地利用意向調査」は今後策定する地域計画及び目標地図のための調査であり、農地の貸し借り等に直接影響する調査ではないが、計画策定後に公表していく考えである。

問 現在情報を必要とする方に対しては。

答 町長 担当課窓口にご相談に来てもらえば情報を提供する。

問 重労働軽減のため、農水省のスマート農業の企画を取り入れ、自動草刈り機などICTや自動化の機器購入に対し補助をしてはいかがか。

答 町長 本町の情勢に見合った先端技術について調査していく。

これも質問

問 桃PRのために品種名のキャラクターを

答 認知度向上の必要性を感じるので研究する

問 歴史や文化に関心を持つために「桑折検定を

答 郷土愛やシビックプライド醸成のため研究する

問 銀山のイメージができるよう模型を作っては

答 資料のデジタル化も視野に入れ検討する



いし はた まさ こ
石幡 政子 議員

質問 高齢者生活支援の対策は

答弁 地域福祉のネットワークを構築する

問 町長 高齢者支援については、地域包括支援センター、自立支援型地域ケア会議の開催、配食サービス、緊急通報装置貸与等を通じて生活や健康状況の

答 町長 令和6年度からの3年間を見据え「第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定し、高齢者支援を進めているが、その進捗状況について次の点について伺う。



問 町長 現在、福祉活動を担う人材発掘や養成に取り組んでいる。町民主役の助け合いのまちづくりを実践する組織「協議体」の設置に向け準備を進めている。

答 町長 把握に努めている。また、福祉意識の醸成を図り、各関係団体との連携で地域福祉のネットワークづくり各種事業が順調に推移している。

質問 ごみ排出量の減量化はすすんでいるか

答弁 町民の意識向上の啓蒙活動を実践していく

問 町長 本年度から収集日を変更する等してごみ減量化や資源回収率向上を目指しているが、その事業経過を踏まえ次の点について伺う。

答 町長 「桑折町廃棄物減量等推進協議会」での意見や先進事例を参考としながら、引き続き減量化に向け意識啓蒙を進める。

問 伊達地方衛生処理組合におけるごみ処理事業等に係る町負担金については、令和10年度に見直しを図られる。その基準は令和6年度から9年度の排出量である。これを受け今後さらに減量化を進める必要があると考えるが対策について伺う。

これも質問

問 学校教育現場での防災学習は災害についての基礎的学習や避難訓練を実施
答 新入学時に支給される制服サイズに幅をもたせては保護者がサイズを選択して注文できる



はん ざわ まさ やす
半沢 正保 議員

質問 学校教育の成果と課題は

答弁 学力の向上に力を入れていく

問 省が公表した「全国学力・学習状況調査」の結果を分析し、明らかにした成果と課題を伺う。

答 教育長 個別最適な学び、協働的な学びの時間の確保のために、教師の説明時間の短縮化を図ることや、現在取り組んでいる問題解決場面での学習支援に児童生徒への学習支援に加え、問題解決の速度が速い児童生徒も意欲的に取り組めるよう課題設定のあり方にも工夫するなど、具体的に各校長に指示した。

1 学び出す

「自分から」「自分と」「自分と」
すべての子どもが課題解決の見通しをもったり、解決方法を選択したりして、自ら動き出そうとする授業にします。

2 学び合う

「話し合い」「聞き合い」「話し合い」
すべての子どもが友だちの話を傾け、自分の考えを確かめたり、新たにしたり、磨き上げたりする授業にします。

3 学びとる

「自分から」「自分と」「自分と」
すべての子どもが今日の授業で「自分は何か分かり、何ができるようになったのか」を実感できる授業にします。

県教委 授業改善推進ブランドデザイン抜粋 R6・8発行

質問 活力ある学力の高い町に

未来を創る桑折っ子へ

問 新しい教育推進の方策を伺う。

答 町長 未来躍動するまちづくりのため、人材育成の観点から学校教育に期待すること伺う。

問 必要となる英語教育、情報活用能力育成、防災・安全教育、持続可能な開発のための教育、そして健康教育なども推進していく。

答 町長 子どもたちが一人ひとりが夢や目標を持ち、自己実現を図るための努力を惜しまず、叶える力を身につけるとともに、「桑折プライド」を培い、「桑折町・日本・世界」で活躍する人材育成を期待する。

これも質問

問 全小中学校の校庭の芝生化は各地区・PTA等から要望があれば検討する



かわむら しげみち
川村 滋道 議員

質問 補聴器の購入補助制度導入は

答弁 町民の理解醸成に鑑み状況をみたい

問 高齢者の難聴は生活に支障があるだけでなく認知症の1割強の方々が難聴が原因との統計もある。難聴対策用補聴器は高額でそれが原因で購入をためらう傾向もある。補聴器購入補助を求めたいが町長の所見を伺う。



補聴器を適切に装着しましょう

答 町長 難聴と認知症の関係は理解できる。個人の使用する器具の補助となると限りがない。例えば眼鏡補助などもそれに該当する。町民の困り具合の動向を見据え必要性の状況をみたい。

これも質問

- 問 新型コロナウイルス感染症対策は
- 答 10月から65歳以上2,800円で接種
- 問 パートナースhip制度導入について
- 答 県が9月実施した。関係団体と協議したい
- 問 事業者提案は町保育所の民営化では
- 答 企画提案は事業者独自の提案と考える



かわな しずこ
川名 静子 議員

質問 我が事として取り組む浸水対策は

答弁 先進地事例を調査研究する

問 気候変動による豪雨は激甚化しており、本町でも幾度となく被害に遭っている。阿武隈川上流にある鏡石、矢吹、玉川に跨る遊水地郡が整備された。その下流に住む私たちは2町1村の方々に感謝すると共に、それぞれ我が事として行動することが、結果、町民も守る事になることから町の考えを伺う。

答 町長 町民各家庭ができることは、住民自ら浸水対策ができるよう各地区に土の倉庫を設置した。他に大雨の時は水の使用を控える、洗濯は最小限で風呂の水は流さない。非常時は伊達崎排水機場、排水ポンプの迅速な稼働に努めている。

問 雨水浸透ますを推奨することは。



詳しくは広報おひのり月を御覧ください

答 町長 都市部においては一定の効果はあるものの個人負担やここでの有効性からみると難しい。

問 雨水貯留施設（雨水タンク）の普及はSDGsの取組にもなる、町補助金はあるか。

答 町長 広範なエリアなら効果が見込まれるので、先進地事例を調査研究する。町補助金は設けていない。

質問

「いづも議会」開催はなゼムリか

答弁

慎重に検討すべきである

「模擬議会」を通して多くの町民の声を聴く機会にもなる。政治や議会への関心に繋がり投票率UPにも効果が上がる機会を設けてはどうか。

問 18歳まで選挙権が下がったが教育の中での変化また、実体験ができる「模擬議会」の開催は可能か。

答 教育長 社会科で基礎知識は学んでいる。模擬議会は体験的に学ばせる手法の一つだが、優先すべき事もある、手間や効果を具体的に見極める必要があることなどから、慎重に検討すべきであると考え

これも質問

- 問 サルからの被害を防ぐ方策は
- 答 基本的な対策や広報車で巡回パトロールを実施
- 問 移転後の保育所は、また職員の雇用状況は
- 答 解体する。14名中5名が内定を受けている

委員会活動報告

総務文教常任委員会

委員長 斉藤 謙

去る8月13日(火)教育文化課長を招聘し、認定こども園の進捗状況について説明を受けた。この事業にかかる認定こども園予定地の多量の地中埋設物等は、不測の費用と期間が必要となり、昨今の資材・燃料・人件費の価格高騰も重なり、事業費に占める設置運営予定業者の準備資金が不足のため、事業者の申し出で施設の大幅な設計見直しと費用縮減で事業継続を決めた。工事期間を2ケ年から3ケ年事業にし、進捗率4年度1%5年度99%を令和5年度1%令和6年度98%に変更する。

広報広聴常任委員会

委員長 半沢 正保

令和6年度町村議会広報研修会が令和6年7月2日(火)午後1時より、福島市とうほう・みんなの文化センター小ホールにおいて開催された。研修は、「議会の“見える化”&住民との“信頼関係”議会広報の基本と編集」と題して、議会広報サポーター 芳野政明様より講習並びに4町の議会だよりのクリニックが行われた。次の2つに、これから取り組んでいきたいと思った。(1)目的を持って制作①読まれ、親しまれ、役に立つ②議事・議会活動を的確に伝える③読みたくなる紙面作り(2)見出しの重要性 15文字以内で的確に等々、多くのことを学んできた。



第19回 伊達郡町議会議員大会

令和6年7月19日(金)午後3時より、国見町観月台文化センターにおいて、桑折町・国見町・川俣町の議員が出席し、伊達郡町議会議員大会が開催された。

議事として、桑折町議会からは、被災橋梁の早期復旧並びに一般県道の整備促進について説明がなされ、「伊達崎橋」の復旧方針の早期実現が強く要望し承認された。

次に、福島大学地域未来デザインセンター 岩井秀樹 特任教授より、演題「空き家対策の推進、空き家利活用について」として、田村市等の効果的な実例をあげながら、都市のコンパクト化が進展しない理由等について、説明いただいた。

産業厚生常任委員会

委員長 佐藤 武朗

本委員会は、「商業分野における地域おこし協力隊制度の利活用」について協議してきた。

農業分野では、就農者の高齢化・後継者不足・耕作放棄地等の多くの課題があるなか、町はシティープロモーションや農業に特化した協力隊制度の活用で「献上桃の郷」としての地域ブランドを確立しつつある。

一方、商業分野においても農業と同様の課題もあり、本委員会は本町における協力隊制度の活用状況、空き家・空き店舗の状況、および事業者の入手・後継者の状況などについて調査研究を進めていく。

また、本来の協力隊制度の目的は、人口減少や高齢化の進行する地方で地域外の人材を積極的に誘致、定着を図ることである。本町の次世代を担う若手リーダーの方々との意見交換等を実施し、商業分野の視点から協力隊制度の利活用について調査研究を進めていきたい。

議会運営委員会

委員長 半沢 高

閉会中の所掌事務調査事項である①「議会基本条例第20条に基づく検証」および②「一般質問のあり方について」に関して調査を進めてきたところであり、今後においてそれぞれに細部を検討し、できるだけ早い時期に報告する予定。

なお、上記の調査の他に「定例会の総括のあり方」について見直しを行い、町の総括と議会の総括の文書交換について定めた。また、「陳情書の提出要件の一部見直し」についても協議中である。請願・陳情に関しては、請願書は紹介議員がいることが要件になっているが、陳情書は桑折町議会では日本全国どこからでも誰でも郵送等により提出可能となっており、提出者を参考人として呼びづらい事象等もあることから、他議会の陳情書提出要件を参考に一部見直しを図る予定である。



質問 水位低下10cmなら別の対策も

答弁 流域治水プロジェクトに期待

さいとうまつお 齋藤 松夫 議員



奈良県生駒市がホームページで紹介

奈良県初！すべての生活保護受給世帯に対するエアコンの設置を進めます

エアコン設置事業の概要(一部)は、次のように紹介されています。

- 対象は エアコン未設置、または使用できるエアコンがない世帯
- 給付額は 上限10万円(エアコン購入費6万7千円、設置工事費3万3千円)
- 設置対象は 市内の販売店・同工事業者から購入、設置するもので一世帯1台

生駒市HPより要約して紹介させていただきました。

情報！ HPのページをご覧ください。

問 議会の阿武隈川上流遊水地群視察の際の説明は、その効果は福島市で水位低下10cmということであつた。これに対する町の評価・所見を伺う。気候変動による温度(2度)上昇により、対策をしなければ阿武隈川流域浸水世帯数は約2倍の44,100世帯にも達するとの国交省予測だ。国交省は、遊水地群の整備、河道掘削及び堤防の強化等を挙げている。この河道掘削の対象区間に宮城県との県境部分が含まれているか。県内最下流域の伊達地方として新たな対策の探求が必要ではないか。

答 町長 県境部分は河道掘削の対象に含まれていない。今後の対策としては令和6年3月発表の「流域治水プロジェクト2・0」の新たな防災対策に期待する。

質問 生活保護世帯のエアコンは

答弁 11世帯が未設置の状況だ

問 災害級の猛暑が続くなか、国から「生活保護世帯におけるエアコン購入費用について(周知)」が、都道府県や市町村宛て発せられている。本町においてはどのような状況か。すべての生活保護家庭にエアコンが設置されるようにすべきだが、どのような状況か。

答 町長 生活保護の相談・申請は、県保健福祉事務所が所管している。国からの文書は遺漏なく周知されているところだ。本町の生活保護世帯におけるエアコン設置状況は、34世帯のうち23世帯である。

これも質問

問 保育所廃止条例の提出は12月定例会に提出

答 住宅耐震化の積極推進を国県制度活用し支援



議 会 活 動 状 況 報 告

◀詳しくは、こちらから

令和6年6月19日～令和6年9月19日

月 日	活 動 状 況	内 容	対 象 者
R6.6.27	議会全員協議会	・6月定例会の総括について ・「流域治水に関する事業説明会」について	全 議 員
R6.7.4	令和6年度流域治水に関する事業説明会	・座学 ・上流遊水地群整備予定地見学	全 議 員
R6.7.18	議会全員協議会	・「流域治水に関する事業説明会」の総括について ・「議員のなり手不足」「議員報酬の見直し」について	全 議 員
R6.7.19	第19回伊達郡町議会議員大会	・大会、講演会、交流会	全 議 員
R6.7.30	伊達地方消防組合消防署西分署庁舎落成式	・式典	議 長 外
R6.8.1	議会全員協議会	・桑折町総合計画 中期基本計画(素案)について ・「調査特別委員会」の設置について ・2番議員からの6月定例会総括事項について	全 議 員
R6.9.4	令和6年第4回桑折町議会定例会	・会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告・行政報告、 町長提案理由の説明、補正予算説明、決算認定総括説明、 健全化判断比率・資金不足比率報告、決算審査結果報告	全 議 員
R6.9.5	議会全員協議会	・令和6年第4回桑折町議会定例会(第2日)の議事日程等について	全 議 員
R6.9.5	令和6年第4回桑折町議会定例会	・一般質問(5名)	全 議 員
R6.9.6	議会全員協議会	・令和6年第4回桑折町議会定例会(第3日)の議事日程等について	全 議 員
R6.9.6	令和6年第4回桑折町議会定例会	・一般質問(5名)	全 議 員
R6.9.10	議会全員協議会	・令和6年第4回桑折町議会定例会(第7日)の議事日程等について ・桑折町総合計画 中期計画の訂正について ・桑折町都市計画マスタープランの訂正について	全 議 員
R6.9.10	令和6年第4回桑折町議会定例会	・条例改正3件、条例廃止1件、規約変更1件、補正予算3件、総合計画、 マスタープラン、同意1件審議採決 ・決算認定所管別説明	全 議 員
R6.9.12	議会全員協議会	・令和6年第4回桑折町議会定例会(第9日)の議事日程等について	全 議 員
R6.9.12	令和6年第4回桑折町議会定例会	・令和5年度決算認定所管別質疑(総務文教常任委員会所管)	全 議 員
R6.9.17	議会全員協議会	・令和6年第4回桑折町議会定例会(第14日)の議事日程等について ・令和5年度決算付属資料の差替えについて"	全 議 員
R6.9.17	令和6年第4回桑折町議会定例会	・令和5年度決算認定所管別質疑(産業厚生常任委員会所管)	全 議 員
R6.9.18	議会全員協議会	・令和6年第4回桑折町議会定例会(第15日)の議事日程等について	全 議 員
R6.9.18	令和6年第4回桑折町議会定例会	・令和5年度一般会計決算認定 総括質疑、討論採決	全 議 員
R6.9.19	議会全員協議会	・令和6年第4回桑折町議会定例会(第16日)の議事日程等について	全 議 員
R6.9.19	令和6年第4回桑折町議会定例会	・令和5年度特別会計・水道事業会計決算認定 総括質疑、討論採決 ・水道事業剰余金の処分審議採決 ・追加議案審議採決	全 議 員

令和5年度 議会費決算概要

議員報酬及び期末手当	42,682,786円
共済組合費負担金(年金分) ※制度改正により現議員は対象外	9,743,400円
職員人件費	16,282,410円
需用費(議会だより印刷製本費外)	2,372,966円
その他(旅費、交際費、使用料、負担金等)	5,362,192円
計	76,443,754円



桑折町議会が「阿武隈川上流遊水地群」整備予定地を視察

「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」の理解を深める

＜国土交通省東北整備局・福島県主催＞

令和6年7月30日(木)鏡石町健康福祉センター会議室において流域治水対策プロジェクトに関する詳しい説明をいただき、引き続き鏡石町・玉川村・矢吹町の遊水池群整備予定地の視察を行いました。



❖ プロジェクトの目的

気候変動に対応しつつ阿武隈川流域における洪水のリスクを軽減し、住民の安全を守ることを目的としています。具体的には河川の流量をコントロールし氾濫のリスクを低減するためのインフラ整備が行われます。

❖ 遊水池の役割

鏡石町、玉川村、矢吹町に設置される遊水池は、大雨や洪水時に阿武隈川の水位を調整するための重要な施設となります。主な役割は、川の水位が急激に上昇した際に、川からあふれる水を一時的に貯める役割を果たします。これにより、川が氾濫して周囲の地域が浸水するリスクを減少させることができます。



❖ 上流域住民の皆さまへの感謝

阿武隈川流域上流(鏡石町、玉川村、矢吹町)に設置予定の遊水池は、洪水時に川の水量をコントロールし、下流域の住宅や農地が浸水するリスクが大幅に減り、経済的な損失も最小限に抑えられます。遊水池を受け入れていただいた鏡石町、玉川村、矢吹町の上流域の皆さまに、下流域の桑折町議会は桑折町住民を代表し深い感謝の意を表します。



あなたの声/が



/町/を動かす

令和6年度 第2回 桑折町議会報告・意見交換会 開催のご案内

今回は、各地区ごと4つの会場で下記のとおり開催いたします。
多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

桑折地区

日時

11月5日(火)
18:30～19:30

場所

桑折公民館

睦合地区

日時

11月6日(水)
18:30～19:30

場所

睦合公民館

半田地区

日時

11月7日(木)
18:30～19:30

場所

半田公民館

伊達崎地区

日時

11月8日(金)
18:30～19:30

場所

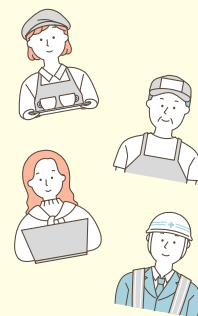
伊達崎公民館

主な内容

- ①議会活動状況、予算、決算等の審議状況の報告
- ②町政及び議会活動に関する意見交換

持参物

議会だより
vol 138
秋号



訂正と お詫び

前議会だよりvol137夏号4ページの令和5年度ピザスタ売上に関する記事において、誤った金額を掲載いたしました。正しい売上は<29,546,232円>であるところを、誤って<292,546,232円>と記載しておりました。訂正してお詫び申し上げます。今後このようなミスがないよう、再発防止に努めてまいります。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

編集後記

錦木塚古墳は、県道浪江国見線の桑折町と国見の町境の河岸段丘にあり、塚目古墳群の一部です。石棺内には銅椀や長頸瓶類、皿や葬祭などに使用される勾玉やガラス製品が多く出土し、現在大戸の国見町歴史資料館に保存展示されています。7世紀前半の後期古墳時代にこの地方の高い地位にいた人を埋葬したものと想定され、現在石棺は閉じられ小山になっています。

この古墳は私が地主として見守っています。

川村滋道

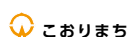
まちなみ歳時記

発掘当時の石棺内部



●広報広聴常任委員会編集委員

委員長 半沢 正保 副委員長 石幡 政子
委員 鈴木 隆志 委員 川村 滋道



議会だより

令和6年10月16日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 原 賢志

編集 広報広聴常任委員会
電話 024(582)2113
印刷 株式会社神尾印刷所